

ホタテガイ養殖管理情報

**中層（10～15m層）の水温が23℃を超えそうです
早めの稚貝採取で体力のある稚貝を育成しましょう**

1 海況

8月1日時点の陸奥湾の中層（10～15m層）の日平均水温は、急激に上昇してきており、23℃を超えそうな地点が見られます（図1）。

2 養殖管理の注意点

(1) 新貝・成貝

水温が20℃で成長はストップし、それ以降は中腸腺（ウロ）や貝柱のエネルギーを使って生命を維持しますが、23℃を超えるとエネルギーの消耗が激しくなり、最後はエネルギー不足でへい死します（図2～3）。

このため、**出荷する予定以外の貝は引き続き、できるだけ水温の低い下層に沈めましょう。**また、体力の消耗を抑えるために、**玉付け、掃除、へい死確認などの作業は行わない**ようにしましょう。

(2) 稚貝

水温が23℃を超えると成長は鈍り、25℃で成長がストップし、26℃を超えるとエネルギー不足からへい死の危険性が高まります（図2～3）。

このため、**早めの稚貝採取により、体力のある稚貝を育成するように**しましょう。また、**採苗器及び稚貝採取後のパールネットはできるだけ水温の低い下層に沈め**ましょう。

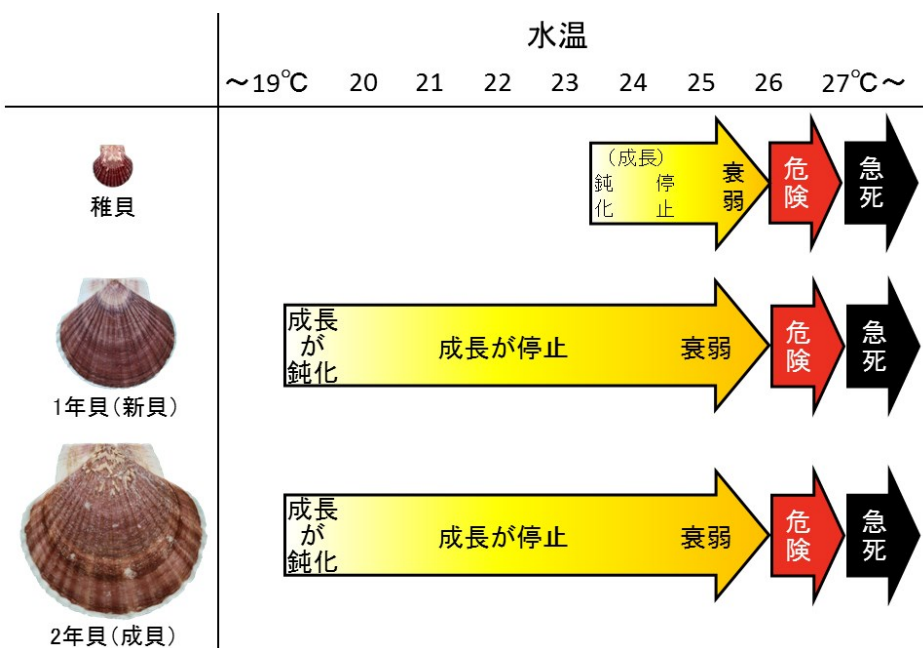


図2 ホタテガイの成長と生残率に与える水温の影響

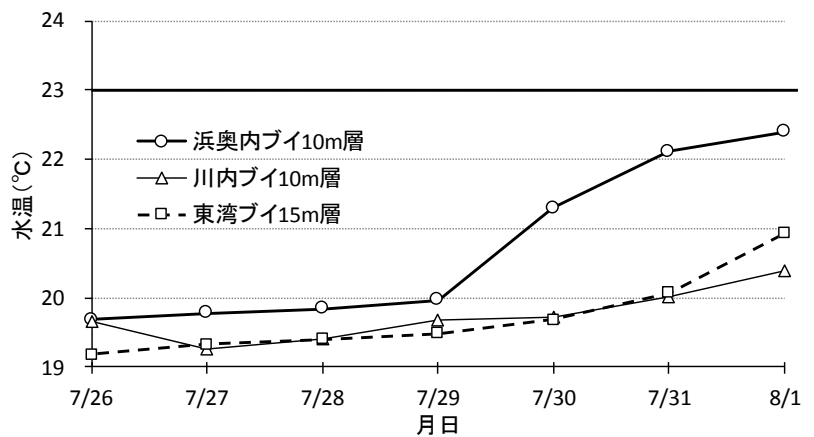
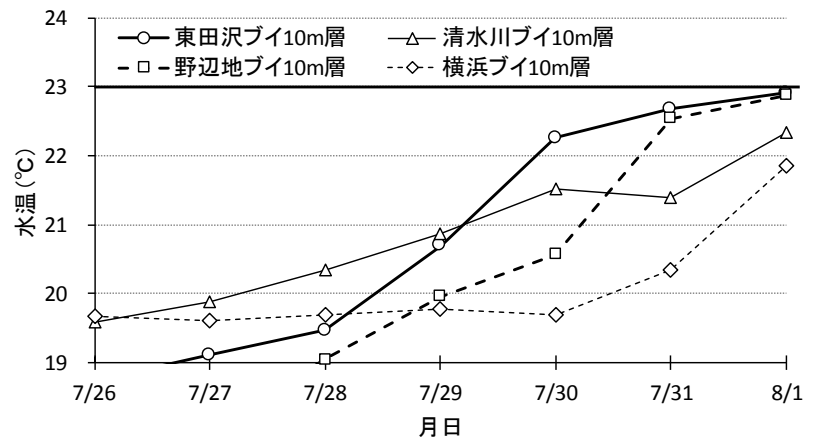
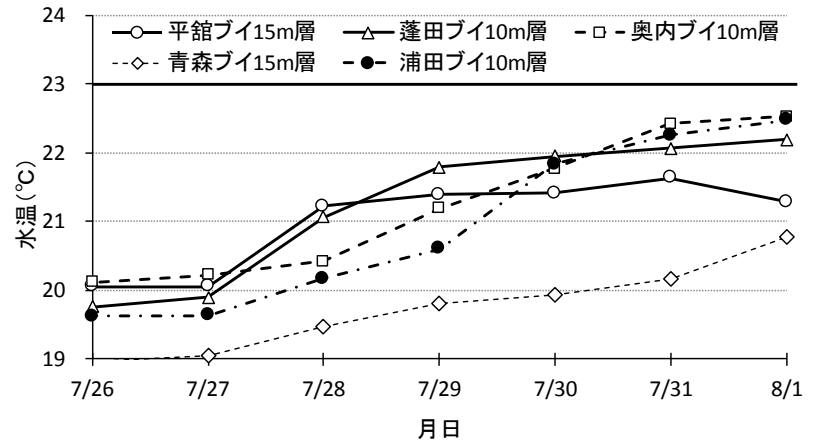


図1 海況自動観測ブイ（15m層）と水温観測ブイ（10m層）での日平均水温の変化

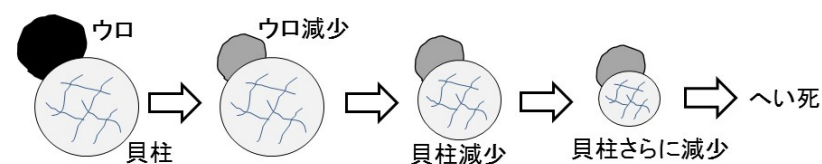


図3 高水温が続いた場合のホタテガイのへい死メカニズム

